

ロイヤントTM乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2025/02/27
1.2	2025/05/08	800080005482	初回作成日: 2023/02/14

Corteva AgriscienceTM は、この製品の使用者が、重要な情報を記載しているこの(M)SDSを熟読され、ご理解されるようお願いしております。このSDSは、職場における人の健康および安全性の保護、環境保護、緊急時の対応を支援する情報を製品の使用者に提供します。製品を使用される際は、主に製品容器に添付されている製品ラベルを参照する必要があります。このSDSは、日本の法規制及びJIS Z 7253に準拠して作成されたものであり、日本以外の国の規制を満たすものではありません。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : ロイヤントTM乳剤

供給者の会社名称、住所及び電話番号

会社情報

製造業者/輸入業者

コルテバ・ジャパン株式会社
100-6110 東京都千代田区永田町 2-11-1

会社電話番号 : 03-3519-3190
電子メールアドレス : SDS@corteva.com

緊急連絡電話番号 : 0800-170-5827

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 農薬 (除草剤)

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

水生環境有害性 短期 (急性) : 区分 1

水生環境有害性 長期 (慢性) : 区分 1

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 警告

ロイヤントTM乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2025/02/27
1.2	2025/05/08	800080005482	初回作成日: 2023/02/14

危険有害性情報 : H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

注意書き :

安全対策:
P273 環境への放出を避けること。

応急措置:
P391 漏出物を回収すること。

廃棄:
P501 内容物／容器を承認された処理施設に廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性
知見なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS)/安衛法 (ISHL) 番号
フロルピラウキシフェンベンジル	1390661-72-9	2.7	8-(1)-4461
N,N-ジメチルデカンアミド及び N,N-ジメチルオクタンアミドの反 応マス	未特定	10	-
プロピレンカーボネート	108-32-7	5.0	5-524
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸 及びその塩（アルキル基の炭素数 が10から14までのもの及びそ の混合物に限る。）	26264-06-2	3.1	3-1906, 3-1884, 3-1949
エチルヘキサノール	104-76-7	1.9	2-217

4. 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動させる。呼吸停止の時は救急隊または救急車を呼び、人工呼吸を施す。マウスツーマウス式人工呼吸を行う時は、レスキュー用保護具（ポケットマスクなど）を使用する。中毒情報センターに連絡するか医師に治療のアドバイスを求めること。

皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類を脱がせる。直ちに皮膚を大量の水で15～20分間洗浄する。中毒情報センターに連絡するか医師に治療のアドバイスを求めること。

眼に入った場合 : 眼を開いたまま15～20分水道水でゆっくりと優しく洗い流す。コンタクトレンズを装着している場合は、5分洗浄してから

ロイヤントTM乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2025/02/27
1.2	2025/05/08	800080005482	初回作成日: 2023/02/14

飲み込んだ場合 : ずし、さらに洗眼を続ける。中毒情報センターに連絡するか医師に治療のアドバイスを求めること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 緊急医療措置は必要ない。

応急措置をする者の保護 : 知見なし。

医師に対する特別な注意事項 : ばく露する可能性がある場合は、第8項の保護具の情報を参照。

: 特別な解毒剤はない。

: ばく露に対する治療は、患者の症状に応じて臨床的処置を行う。

: 中毒情報センターや医師に電話する場合、または治療を受けに行く場合は、この安全データシートのほか、できれば製品の容器またはラベルを手元に用意すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 水噴霧
耐アルコール泡消火剤
二酸化炭素 (CO₂)
粉末消火剤

使ってはならない消火剤 : 知見なし。

特有の危険有害性 : 燃焼生成物にさらされると、健康に危害を及ぼす可能性がある。

: 火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。

有害燃焼副産物 : 火災時の煙には、元の物質に加えて、毒性や刺激性があるかもしれない様々な燃焼生成物が含まれていることがある。

: 燃焼生成物は以下のものを含むことがあり、またこれだけとは限らない :

: 窒素酸化物 (NO_x)

: 炭素酸化物

特有の消火方法 : 安全であれば未損傷コンテナを火災領域から離す。

: 区域から退避させること。

: 未開封の容器を冷却するために水を噴霧する。

: 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。

消火を行う者の保護 : 消火活動時には必要に応じて自給式呼吸装置を装着する。

: 保護具を使用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 適切な安全設備を用いること。追加情報として、第8項、暴露防止及び保護措置を参照。

環境に対する注意事項 : 環境への放出は必ず避けなければならない。

ロイヤントTM乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2025/02/27
1.2	2025/05/08	800080005482	初回作成日: 2023/02/14

安全を確認してから、もれやこぼれを止める。
広範囲に広まるのを防ぐ（封じ込めまたはオイルバリアなどによる）。
汚染された洗浄水を保管し、処分する。
流出が著しく回収できない場合は、地方自治体に通報する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 適切な吸収剤を使って流出の残余物を除去する。
本物質、ならびに放出物の清掃に使用した資材および品目の放出および処分については、地方または国の規制が適用される場合がある。
大規模な流出の場合は、物質が広がらないように、堤防で囲うか、他の適切な封じ込めを行う。堤防で囲った物質をポンプで汲み出せるのであれば、回収物質は、ベント付き容器に保管すること。漏洩物質が更に反応し、容器内が加圧状態になることがあるので、通気孔から水が侵入しないようにすること。
廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。
吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。
追加情報として、項目 13 の廃棄上の注意を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 : 蒸気/粉じんを吸い込まない。
十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。
漏れや廃棄物を防止し、環境への放出を最小限にするよう注意する。
適切な安全設備を用いること。追加情報として、第 8 項、暴露防止及び保護措置を参照。

接触回避 : 強酸
強塩基類
強酸化剤

保管

安全な保管条件 : 密閉容器に保管すること。
適切なラベルのついた容器に入れておく。
各国の規定に従って保管する。

混触禁止物質 : 酸の近くに保管しない。
強酸化剤

安全な容器包装材料 : 適さない材質: 知見なし。

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

ロイヤント[™]乳剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2025/02/27
1.2 2025/05/08 800080005482 初回作成日: 2023/02/14

成分	CAS 番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 濃度基準値 / 許容濃度	出典
エチルヘキサノール	104-76-7	OEL-M	1 ppm 5.3 mg/m3	日本産業衛生学会 (許容濃度)
詳細情報: 第 3 群: ヒトに対する生殖毒性の疑いがある物質				
		TWA	2 ppm	Corteva OEL
		STEL	6 ppm	Corteva OEL
		TWA	5 ppm	ACGIH

設備対策 : 局所排気装置や他の排気装置を使用して、気中濃度が許容濃度や管理濃度より低くなるように管理する。許容濃度や管理濃度が設定されていない場合、通常の作業は全体換気を行うことで十分である。
一部の作業には局所排気装置が必要になることがある。

保護具

呼吸用保護具 : 許容濃度や管理濃度を超える可能性がある場合、呼吸器保護具を着用すること。許容濃度や管理濃度が設定されていない場合、呼吸器刺激や不快感等がある場合、又はリスク評価において必要であると示された時、呼吸器保護具を着用する。

手の保護具

備考 : この物質に対し耐薬品性のある手袋を用いること。望ましい手袋の素材の例：塩素化ポリエチレン。ネオプレン。ポリエチレン。エチルビニルアルコールラミネート (EVAL)。ポリ塩化ビニル (PVC または ビニル)。パイトン。許容できる手袋の素材の例：ブチルゴム。天然ゴム (ラテックス)。ニトリル/ブタジエンゴム (ニトリルまたは NBR)。注意：特定の用途と作業場での使用時間に適合した手袋を選択するときは、以下に記す要件をはじめとして、作業上の要件をすべて考慮に入れる必要がある：取り扱う可能性がある他の化学物質、物理的要件 (切傷・刺し傷の予防、機敏さ、熱の防護)、手袋の供給業者からの説明書・仕様書。

眼の保護具 : 安全メガネ (サイドシールド付) を着用する。

皮膚及び身体の保護具 : この物質に耐薬品性のある保護衣を着用する。作業内容に応じて、顔面シールド、長靴、エプロンまたは全身防護服などの保護具を選択する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体

色 : 黄色

臭い : 溶剤

臭いのしきい(閾)値 : データなし

融点/ 範囲 : データなし

ロイヤントTM乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2025/02/27
1.2	2025/05/08	800080005482	初回作成日: 2023/02/14

沸点／沸騰範囲 : データなし

可燃性（固体、気体） : データなし

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界

爆発範囲の上限 / 可燃上限 : データなし
値爆発範囲の下限 / 可燃下限 : データなし
値

引火点 : > 100 ° C

方法: 密閉式引火点試験

自己発火性 : データなし

pH : 4.24 (22.6 ° C)
含有量: 1 %
(1%水性懸濁液)

蒸発速度 : データなし

自然発火点 : 260 ° C

粘度

粘度(粘性率) : 15.4 mPa. s (20 ° C)

8.90 mPa. s (40 ° C)

動粘度（動粘性率） : データなし

溶解度

水溶性 : 0.015 mg/l (20 ° C)

蒸気圧 : 0.001 hPa (20 ° C)

密度及び／又は相対密度

比重 : データなし

密度 : 0.9257 g/cm³ (20 ° C)

方法: デジタル式密度計

相対ガス密度 : データなし

爆発特性 : 爆発性なし

酸化特性 : 5°Cを超える顕著な温度上昇なし

ロイヤント™乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2025/02/27
1.2	2025/05/08	800080005482	初回作成日: 2023/02/14

10. 安定性及び反応性

反応性	: 反応性危険としては分類されない。
化学的安定性	: 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。 通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	: 推奨保管条件下では安定。 特に言及すべき危害要因はない。
避けるべき条件	: 知見なし。
混触危険物質	: 強酸 強塩基類 強酸化剤
危険有害な分解生成物	: 分解生成物は温度、空気の供給および他の物質の存在による。 分解生成物は以下のものを含むことがあり、またこれだけとは限らない: 窒素酸化物 (NO _x) 炭素酸化物

11. 有害性情報

急性毒性

製品:

急性毒性 (経口)	: LD50 (ラット、メス): > 5,000 mg/kg 方法: OECD 試験ガイドライン 423 症状: この濃度では死に至らない。 備考: 情報源: 内部試験報告書
急性毒性 (吸入)	: LC50 (ラット、オスおよびメス): > 5.40 mg/l 曝露時間: 4 h 試験環境: 粉じん/ミスト 方法: OECD 試験ガイドライン 403 症状: この濃度では死に至らない。 アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。 備考: 情報源: 内部試験報告書
急性毒性 (経皮)	: LD50 (ラット、オスおよびメス): > 5,000 mg/kg 方法: OECD 試験ガイドライン 402 症状: この濃度では死に至らない。 備考: 情報源: 内部試験報告書

ロイヤントTM乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2025/02/27
1.2	2025/05/08	800080005482	初回作成日: 2023/02/14

成分:**フロロピラウキシフェンベンジル:**

- 急性毒性（経口）：LD50 (ラット、メス): > 5,000 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 423
症状: この濃度では死に至らない。
- 急性毒性（吸入）：LC50 (ラット, オスおよびメス): > 5.23 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉じん/ミスト
方法: OECD 試験ガイドライン 403
症状: この濃度では死に至らない。
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。
- 急性毒性（経皮）：LD50 (ラット、オスおよびメス): > 5,000 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 402
症状: この濃度では死に至らない。

N,N-ジメチルデカンアミド及びN,N-ジメチルオクタンアミドの反応マス:

- 急性毒性（経口）：LD50 (ラット): > 2,000 mg/kg
- 急性毒性（吸入）：LC50 (ラット): > 3.551 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉じん/ミスト
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。
- 急性毒性（経皮）：LD50 (ラット): > 2,000 mg/kg

プロピレンカーボネート:

- 急性毒性（経口）：LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg
- 急性毒性（経皮）：LD50 (ウサギ): > 3,000 mg/kg
アセスメント: この物質または混合物は急性の皮膚毒性は無い。

直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩（アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る。）:

- 急性毒性（経口）：LD50 (ラット、オスおよびメス): 1,300 mg/kg

エチルヘキサノール:

- 急性毒性（経口）：LD50 (ラット): > 2,000 mg/kg
標的臓器: 中枢神経系
- 急性毒性（吸入）：LC50 (ラット): 2.17 mg/l
曝露時間: 4 h

ロイヤントTM乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2025/02/27
1.2	2025/05/08	800080005482	初回作成日: 2023/02/14

試験環境: 粉じん/ミスト

急性毒性（経皮） : LD50 (ウサギ): > 3,000 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 402

皮膚腐食性/刺激性

製品:

種 : ウサギ
方法 : OECD 試験ガイドライン 404
結果 : 皮膚刺激なし
備考 : 情報源: 内部試験報告書

成分:

フロルピラウキシフェンベンジル:

種 : ウサギ
曝露時間 : 4 h
方法 : OECD 試験ガイドライン 404
結果 : 皮膚刺激なし

N,N-ジメチルデカンアミド及びN,N-ジメチルオクタンアミドの反応マス:

種 : ウサギ
結果 : 皮膚刺激性

プロピレンカーボネート:

結果 : 皮膚刺激なし

直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩（アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る。）:

種 : ウサギ
方法 : OECD 試験ガイドライン 404
結果 : 皮膚刺激性

エチルヘキサノール:

種 : ウサギ
結果 : 皮膚刺激性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

製品:

種 : ウサギ
結果 : 眼への刺激なし
方法 : OECD 試験ガイドライン 405
備考 : 情報源: 内部試験報告書

ロイヤント™乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2025/02/27
1.2	2025/05/08	800080005482	初回作成日: 2023/02/14

成分:

フロルピラウキシフェンベンジル:

種	: ウサギ
結果	: 眼への刺激なし
方法	: OECD 試験ガイドライン 405

N,N-ジメチルデカンアミド及びN,N-ジメチルオクタンアミドの反応マス:

種	: ウサギ
結果	: 腐食性

プロピレンカーボネート:

結果	: 眼への刺激
----	---------

直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩（アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る。）:

種	: ウサギ
結果	: 腐食性
方法	: OECD 試験ガイドライン 405

エチルヘキサノール:

種	: ウサギ
結果	: 眼への刺激

呼吸器感作性又は皮膚感作性

製品:

試験タイプ	: ビューラー法
種	: モルモット
アセスメント	: 皮膚感作性なし
方法	: OECD 試験ガイドライン 406
備考	: 情報源: 内部試験報告書

成分:

フロルピラウキシフェンベンジル:

試験タイプ	: 局所リンパ節増殖試験 (LLNA)
種	: マウス
方法	: OECD テストガイドライン 429
結果	: 製品は皮膚過敏化性である、細区分 1B

N,N-ジメチルデカンアミド及びN,N-ジメチルオクタンアミドの反応マス:

種	: モルモット
結果	: 皮膚感作性なし
備考	: 類似物質について

ロイヤントTM乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2025/02/27
1.2	2025/05/08	800080005482	初回作成日: 2023/02/14

プロピレンカーボネート:

種	: ヒト
結果	: 皮膚感作性なし

エチルヘキサノール:

試験タイプ	: HRIPT (ヒト繰り返しインサルトパッチテスト)
種	: ヒト
結果	: 皮膚感作性なし

生殖細胞変異原性

成分:

フロルピラウキシフェンベンジル:

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro での遺伝毒性試験は陰性であった。動物遺伝毒性試験は陰性だった。

N,N-ジメチルデカンアミド及びN,N-ジメチルオクタンアミドの反応マス:

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro での遺伝毒性試験は陰性であった。

プロピレンカーボネート:

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro での遺伝毒性試験は陰性であった。

エチルヘキサノール:

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro での遺伝毒性試験は陰性であった。動物遺伝毒性試験は陰性だった。

発がん性

成分:

フロルピラウキシフェンベンジル:

発がん性 - アセスメント : 動物試験では発がん性はなかった。

プロピレンカーボネート:

発がん性 - アセスメント : 動物試験では発がん性はなかった。

エチルヘキサノール:

発がん性 - アセスメント : 実験動物において、発がん作用の証拠が観察された。これらの発見がヒトに関係していることを示す証拠は存在しない。

ロイヤント™乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2025/02/27
1.2	2025/05/08	800080005482	初回作成日: 2023/02/14

生殖毒性

成分:

フロルピラウキシフェンベンジル:

生殖毒性 - アセスメント : 動物試験では、生殖を阻害しなかった。
動物試験で催奇形性や他の胎児への影響はなかった。

N,N-ジメチルデカンアミド及びN,N-ジメチルオクタンアミドの反応マス:

生殖毒性 - アセスメント : 類似物質について、動物試験で催奇形性や他の胎児への影響はなかった。

プロピレンカーボネート:

生殖毒性 - アセスメント : 動物試験で催奇形性や他の胎児への影響はなかった。

エチルヘキサノール:

生殖毒性 - アセスメント : 実験動物において、母体毒性を示す用量でのみ催奇形性が認められた。実験動物において、母体毒性を示す用量で胎児毒性が認められた。これらの濃度はヒトで考えられる用量を上回っている。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

製品:

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性（単回ばく露）を示さない。

成分:

フロルピラウキシフェンベンジル:

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性（単回ばく露）を示さない。

N,N-ジメチルデカンアミド及びN,N-ジメチルオクタンアミドの反応マス:

暴露の主経路 : 吸入
アセスメント : 呼吸器への刺激のおそれ。

プロピレンカーボネート:

アセスメント : 入手可能なデータは特定標的臓器毒性（単回ばく露）を決定するには不十分である。

エチルヘキサノール:

暴露の主経路 : 吸入
標的臓器 : 気道

ロイヤント™乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2025/02/27
1.2	2025/05/08	800080005482	初回作成日: 2023/02/14

アセスメント : 呼吸器への刺激のおそれ。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

製品:

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性（反復ばく露）を示さない。

反復投与毒性

成分:

フロルピラウキシフェンベンジル:

備考 : 入手可能なデータによると、繰り返し暴露で、顕著な有害影響は予期されない。

N,N-ジメチルデカンアミド及びN,N-ジメチルオクタンアミドの反応マス:

備考 : 類似物質について
入手可能なデータによると、繰り返し暴露で、顕著な有害影響は予期されない。

プロピレンカーボネート:

備考 : 実験動物の皮膚に繰り返し塗布したところ、全身毒性は認められなかった。

エチルヘキサノール:

備考 : 動物では、以下の臓器に影響することが報告されている :
血液。
腎臓。
肝臓。
脾臓。

誤えん有害性

成分:

フロルピラウキシフェンベンジル:

物性上、誤えん有害性は低い。

N,N-ジメチルデカンアミド及びN,N-ジメチルオクタンアミドの反応マス:

飲み込んで気道に侵入すると有害のおそれ。

プロピレンカーボネート:

入手可能な情報によると、誤えん有害性は確定されていない。

ロイヤントTM乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2025/02/27
1.2	2025/05/08	800080005482	初回作成日: 2023/02/14

エチルヘキサノール:

飲み込んで気道に侵入すると有害のおそれ。

12. 環境影響情報

生態毒性

製品:

- 魚毒性 : LC50 (Cyprinus carpio (コイ)): > 120 mg/l
曝露時間: 96 h
試験タイプ: 半止水式
方法: OECD テストガイドライン 203 あるいは同等のもの
- ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 49 mg/l
に対する毒性 曝露時間: 48 h
方法: OECD 試験ガイドライン 202
- 藻類／水生生物に対する毒性 : ErC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): > 5.4 mg/l
曝露時間: 72 h
方法: OECD 試験ガイドライン 201
- ErC50 (Myriophyllum spicatum): 0.000919 mg/l
曝露時間: 14 d
- 最大無影響濃度 (Myriophyllum spicatum): 0.0000954 mg/l
曝露時間: 14 d
- 土中生物に対する毒性 : LC50 (Eisenia fetida (ミミズ)): > 2,500 mg/kg
曝露時間: 14 d
エンドポイント: 死亡率
- 地上生物に対する毒性 : 経口 LD50 (Colinus virginianus (コリンウズラ)): > 2,500 mg/kg 体重
- 経口 LD50 (Apis mellifera (ミツバチ)): > 212.2 µg/bee
曝露時間: 48 h
- 接触 LD50 (Apis mellifera (ミツバチ)): > 200 µg/bee
曝露時間: 48 h

環境毒性アセスメント

- 水生環境有害性 短期 (急性) : 水生生物に非常に強い毒性。
- 水生環境有害性 長期 (慢性) : 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

ロイヤントTM乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2025/02/27
1.2	2025/05/08	800080005482	初回作成日: 2023/02/14

成分:**フロルピラウキシフェンベンジル:**

魚毒性 : LC50 (*Oncorhynchus mykiss* (ニジマス)): > 0.0490 mg/l
曝露時間: 96 h
試験タイプ: 流水式
方法: OECD 試験ガイドライン 203

LC50 (*Pimephales promelas* (ファットヘッドミノウ)): > 0.0518 mg/l
曝露時間: 96 h
試験タイプ: 流水式試験
方法: OECD 試験ガイドライン 203

LC50 (*Cyprinodon variegatus* (シブスヘッドミノー)): > 0.0403 mg/l
曝露時間: 96 h
試験タイプ: 流水式試験
方法: OECD 試験ガイドライン 203

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 : EC50 (*Daphnia magna* (オオミジンコ)): > 0.0623 mg/l
曝露時間: 48 h
試験タイプ: 止水式試験
方法: OECD 試験ガイドライン 202

藻類／水生生物に対する毒性 : ErC50 (*Pseudokirchneriella subcapitata* (緑藻)): > 0.0424 mg/l
エンドポイント: 生長率阻害
曝露時間: 72 h
方法: OECD 試験ガイドライン 201

ErC50 (*Myriophyllum spicatum*): 0.000154 mg/l
曝露時間: 14 d
試験タイプ: 成長抑制

最大無影響濃度 (*Myriophyllum spicatum*): 0.0000095 mg/l
曝露時間: 14 d
試験タイプ: 成長抑制

ErC50 (*Anabaena flos-aquae* (シアノバクテリア)): 0.0423 mg/l
エンドポイント: 生長率阻害
曝露時間: 72 h
方法: OECD 試験ガイドライン 201

M-ファクター (水生環境有害性 短期 (急性)) : 1,000

魚毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度 (*Pimephales promelas* (ファットヘッドミノウ)): 0.0370 mg/l

ロイヤントTM乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2025/02/27
1.2	2025/05/08	800080005482	初回作成日: 2023/02/14

曝露時間: 33 d
試験タイプ: 止水式試験

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : 最大無影響濃度 (Daphnia magna (オオミジンコ)):
に対する毒性 (慢性毒性) 0.0378 mg/l
曝露時間: 21 d

M-ファクター (水生環境有害 : 10,000
性 長期 (慢性))
微生物に対する毒性 : EC50 (活性汚泥): > 1,000 mg/l
曝露時間: 3 h
方法: OECD 試験ガイドライン 209

土中生物に対する毒性 : LC50 (Eisenia fetida (ミミズ)): > 2,000 mg/kg
曝露時間: 14 d

地上生物に対する毒性 : 経口 LD50 (Colinus virginianus (コリンウズラ)):
> 2,250 mg/kg 体重
エンドポイント: 死亡率

混餌 LC50 (Anas platyrhynchos (マガモ)): > 5,620 mg/kg 餌

経口 LD50 (Apis mellifera (ミツバチ)): > 105.4 µg/bee
曝露時間: 48 h
エンドポイント: 死亡率

接触 LD50 (Apis mellifera (ミツバチ)): > 100 µg/bee
曝露時間: 48 h
エンドポイント: 死亡率

N,N-ジメチルデカンアミド及びN,N-ジメチルオクタンアミドの反応マス:

魚毒性 : LC50 (Danio rerio (ゼブラフィッシュ)): 14.8 mg/l
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : LC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 7.7 mg/l
に対する毒性 曝露時間: 48 h

藻類/水生生物に対する毒性 : EC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): 16.06 mg/l
曝露時間: 72 h

環境毒性アセスメント

水生環境有害性 短期 (急性) : 水生生物に毒性。

プロピレンカーボネート:

魚毒性 : 備考: この物質は事実上、水生生物に対して急性毒性を示さない(試験した種のうち最も感受性の高い種で
LC50/EC50/EL50/LL50: > 100 mg/L)。

ロイヤントTM乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2025/02/27
1.2	2025/05/08	800080005482	初回作成日: 2023/02/14

LC50 (Cyprinus carpio (コイ)): > 1,000 mg/l
曝露時間: 96 h
試験タイプ: 半止水式

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 1,000 mg/l
曝露時間: 48 h
方法: OECD テストガイドライン 202 あるいは同等のもの

藻類／水生生物に対する毒性 : EC50 (藻 (Senedesmus sp.)): > 900 mg/l
エンドポイント: バイオマス
曝露時間: 72 h
方法: 方法不特定.

微生物に対する毒性 : EC50 (活性汚泥): > 800 mg/l
曝露時間: 30 min
方法: OECD 209 試験

直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩（アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る。）:

魚毒性 : LC50 (Cyprinus carpio (コイ)): 2.8 mg/l
曝露時間: 48 h
試験タイプ: 止水式
方法: OECD 試験ガイドライン 203

エチルヘキサノール:

魚毒性 : LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 32~37 mg/l
曝露時間: 96 h

LC50 (ファットヘッドミノウ (Pimephales promelas)): 28.2 mg/l
曝露時間: 96 h
方法: OECD 試験ガイドライン 203

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 : LC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 35.2 mg/l
曝露時間: 48 h
方法: OECD 試験ガイドライン 202

EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 39 mg/l
曝露時間: 48 h
方法: OECD テストガイドライン 202 あるいは同等のもの

藻類／水生生物に対する毒性 : ErC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): 11.5 mg/l
エンドポイント: 生長率阻害
曝露時間: 72 h
方法: OECD テストガイドライン 201 あるいは同等のもの

微生物に対する毒性 : EC50 (バクテリア): 256~320 mg/l
曝露時間: 16 h

ロイヤントTM乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2025/02/27
1.2	2025/05/08	800080005482	初回作成日: 2023/02/14

残留性・分解性

成分:

フロルピラウキシフェンベンジル:

生分解性 : 二酸化炭素の放出
結果: 分解性なし
生分解: 14.6 %
曝露時間: 29 d
方法: OECD テスト ガイドライン 301B
備考: 10-day Window: 不合格

水中での安定性 : 試験タイプ: 加水分解
分解半減期 (DT50): 913 d (25 ° C) pH: 4

試験タイプ: 加水分解
分解半減期 (DT50): 111 d (25 ° C) pH: 7

試験タイプ: 加水分解
分解半減期 (DT50): 1.3 d (25 ° C) pH: 9

N,N-ジメチルデカンアミド及びN,N-ジメチルオクタンアミドの反応マス:

生分解性 : 備考: この物質は易分解性である。OECD 易分解性試験に合格している。

結果: 易分解性
生分解: > 80 %
曝露時間: 28 d
方法: OECD テストガイドライン 301F あるいは同等のもの
備考: 10-day Window: 合格

化学的酸素要求量 (COD) : 2.890 mg/g

プロピレンカーボネート:

生分解性 : 結果: 易分解性
生分解: 94 %
曝露時間: 28 d
方法: OECD テストガイドライン 301E あるいは同等のもの
備考: 10-day Window: 合格

結果: 易分解性
生分解: > 97 %
曝露時間: 28 d
方法: OECD テストガイドライン 302B あるいは同等のもの
備考: 10-day Window: 非該当

ThOD : 1.25 kg/kg

ロイヤントTM乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2025/02/27
1.2	2025/05/08	800080005482	初回作成日: 2023/02/14

光分解性 : 試験タイプ: 半減期 (間接光分解)
感作性: OH ラジカル
含有量: 1,500,000 l/cm³
速度定数: 3.79E-12 cm³/s
方法: 推定値

エチルヘキサノール:

生分解性 : 結果: 易分解性
生分解: > 95 %
曝露時間: 5 d
方法: OECD テストガイドライン 302B あるいは同等のもの
備考: 10-day Window: 非該当

結果: 易分解性
生分解: 68 %
曝露時間: 17 d
方法: OECD テストガイドライン 301B あるいは同等のもの
備考: 10-day Window: 合格

生化学的酸素要求量 (BOD) : 26~70 %
インキュベーション時間: 5 d

75~81 %
インキュベーション時間: 10 d

86~87 %
インキュベーション時間: 20 d

化学的酸素要求量 (COD) : 2.70 kg/kg

ThOD : 2.95 kg/kg

光分解性 : 試験タイプ: 半減期 (間接光分解)
感作性: OH ラジカル
速度定数: 1.32E-11 cm³/s
方法: 推定値

生体蓄積性

成分:

フロルピラウキシフェンベンジル:

生体蓄積性 : 種: *Lepomis macrochirus* (ブルーギル)
生物濃縮因子 (BCF) : 356
曝露時間: 30 d

n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: 5.5 (20 ° C)
(log 値) pH: 7

ロイヤントTM乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2025/02/27
1.2	2025/05/08	800080005482	初回作成日: 2023/02/14

備考: 生物濃縮の可能性は中程度 (BCF: 100~3,000、Log Pow: 3~5)。

N,N-ジメチルデカンアミド及びN,N-ジメチルオクタンアミドの反応マス:

n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: < 3.44 (20 ° C)
(log 値) 備考: 生物濃縮の可能性は中程度 (BCF: 100~3,000、Log Pow: 3~5)。

プロピレンカーボネート:

n-オクタノール／水分配係数 : 備考: 生物濃縮の可能性は低い (BCF: < 100 または Log Pow: < 3)。
(log 値) 土壤中移動性がきわめて大きい (Koc: 0~50)。
ヘンリー定数が極めて低いので、自然水系や湿った土壌からの蒸発は多くないと考えられる。
log Pow: -0.41
方法: 測定値
備考: 生物濃縮の可能性は低い (BCF: < 100 または Log Pow: < 3)。

直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 (アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る。):

n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: 4.77 (25 ° C)
(log 値)

エチルヘキサノール:

n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: 3.1
(log 値) 方法: 測定値
備考: 生物濃縮の可能性は中程度 (BCF: 100~3,000、Log Pow: 3~5)。

土壌中の移動性

成分:

フロルピラウキシフェンベンジル:

環境中の分布 : Koc: 15,305~33,500
備考: 土壌中移動性は比較的小さいと考えられる (Koc: > 5,000)。

N,N-ジメチルデカンアミド及びN,N-ジメチルオクタンアミドの反応マス:

環境中の分布 : Koc: 527.3
備考: 土壌中移動性が小さい (Koc: 500~2,000)。

プロピレンカーボネート:

環境中の分布 : Koc: 15

ロイヤントTM乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2025/02/27
1.2	2025/05/08	800080005482	初回作成日: 2023/02/14

方法: 推定値
備考: 土壌中移動性がきわめて大きい (Koc: 0~50)。
ヘンリー定数が極めて低いので、自然水系や湿った土壌からの蒸発は多くないと考えられる。

エチルヘキサノール:

環境中の分布 : Koc: 800
方法: 推定値
備考: 土壌中移動性が小さい (Koc: 500~2,000)。

オゾン層への有害性

成分:

フロルピラウキシフェンベンジル:

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

N,N-ジメチルデカンアミド及びN,N-ジメチルオクタンアミドの反応マス:

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

プロピレンカーボネート:

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

エチルヘキサノール:

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

他の有害影響

成分:

フロルピラウキシフェンベンジル:

PBT および vPvB の評価結果 : この物質は、難分解性、生体蓄積性、毒性 (PBT) ではない。
この物質は、極めて難分解性、高生体蓄積性 (vPvB) ではない。

N,N-ジメチルデカンアミド及びN,N-ジメチルオクタンアミドの反応マス:

PBT および vPvB の評価結果 : この物質は、難分解性、生体蓄積性、毒性 (PBT) ではない。
この物質は、極めて難分解性、高生体蓄積性 (vPvB) ではない。

ロイヤントTM乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2025/02/27
1.2	2025/05/08	800080005482	初回作成日: 2023/02/14

プロピレンカーボネート:

PBT および vPvB の評価結果 : この物質の難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)は評価されていない。

エチルヘキサノール:

PBT および vPvB の評価結果 : この物質は、難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)があるとは考えられていない。この物質は、極難分解性・極生体蓄積性(vPvB)があるとは考えられていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物 : 廃棄物や容器の廃棄が製品ラベルの指示通りに行えない場合は、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

以下の情報は購入時の状態のときのみに適用される。使用後或いは汚染された場合、特性や記載事項が適合しない可能性がある。適切な法律に則ってきちんとした廃棄物の識別と廃棄方法を決める。生じた物質の毒性や物理的性質を決定するのは廃棄物排出者の責任である。

内容物や容器を廃棄する場合は、国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄する。

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送 (UNRTDG)

国連番号 (UN number)	: UN 3082
国連輸送名 (Proper shipping name)	: ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S. (Florpyrauxifen-benzyl)
国連分類 (Class)	: 9
容器等級 (Packing group)	: III
ラベル (Labels)	: 9
環境有害性	: 該当

航空輸送 (IATA-DGR)

UN/ID 番号 (UN/ID number)	: UN 3082
国連輸送名 (Proper shipping name)	: Environmentally hazardous substance, liquid, n. o. s. (Florpyrauxifen-benzyl)
国連分類 (Class)	: 9
容器等級 (Packing group)	: III
ラベル (Labels)	: Miscellaneous

ロイヤントTM乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2025/02/27
1.2	2025/05/08	800080005482	初回作成日: 2023/02/14

梱包指示 (貨物機) (Pack-
ing instruction (cargo air-
craft)) : 964

梱包指示 (旅客機) (Pack-
ing instruction (passenger
aircraft)) : 964

海上輸送 (IMDG-Code)

国連番号 (UN number) : UN 3082

国連輸送名 (Proper shipping
name) : ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S.
(Florpyrauxifen-benzyl)

国連分類 (Class) : 9

容器等級 (Packing group) : III

ラベル (Labels) : 9

EmS コード (EmS Code) : F-A, S-F

海洋汚染物質 (該当・非該当) : 該当 (Florpyrauxifen-benzyl)
(Marine pollutant)

備考 : Stowage category A

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)
供給された状態の製品には非該当。

国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

特別の安全対策

備考 : 国連番号 3077 及び 3082 に割り当てられた海洋汚染物質
は、液体の場合には単一もしくは内装容器あたりの正味容量
が 5L 以下、固体の場合には単一もしくは内装容器あたりの
正味質量が 5kg 以下の単一もしくは組合せ容器において、
IMDG コードセクション 2.10.2.7、IATA 特別規定 A197 およ
び ADR/RID 特別規定 375 に規定されるように、非危険物と
して輸送することができる。

ここに提供されている輸送分類は、情報の目的だけのため、本安全データシートの中で解説さ
れるように開梱された材料の特性のみに基づいています。輸送分類は、交通手段、パッケージサ
イズと地域や地方の規則の変更により、変更される可能性があります。

緊急時応急措置指針番号 : 171

15. 適用法令

関連法規

消防法

第四類, 第三石油類, 水溶性液体, 危険等級 III

ロイヤントTM乳剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2025/02/27
1.2 2025/05/08 800080005482 初回作成日: 2023/02/14

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第57条の2（則34条の2別表2）

化学名	含有量 (%)	備考
炭酸プロピレン	>=1 - <10	2026年4月1日以降
2-エチル-1-ヘキサノール	>=1 - <10	2026年4月1日以降

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第57条（則30別表2）

化学名	備考
炭酸プロピレン	2026年4月1日以降
2-エチル-1-ヘキサノール	2026年4月1日以降

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

第一種指定化学物質

化学名	管理番号	含有量 (%)
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩（アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る。）	30	3.1

16. その他の情報

本 SDS において労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます

日付フォーマット : 年/月/日

その他の略語の全文

ACGIH : 米国。ACGIH 限界閾値 (TLV)
Corteva OEL : Corteva Occupational Exposure Limit
日本産業衛生学会（許容濃度） : 日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告 -I. 化学物質の許容濃度

ACGIH / TWA : 8 時間、時間加重平均
Corteva OEL / STEL : 短時間暴露限界値 (STEL) :
Corteva OEL / TWA : 8-hr TWA
日本産業衛生学会（許容濃度） / OEL-M : 許容濃度

ADR - 陸路による危険物品の国際輸送に関する協定; ASTM - 米国材料試験協会; ECx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる濃度; EmS - 緊急時のスケジュール; ErCx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる成長率; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IATA - 国際航

ロイヤントTM乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2025/02/27
1.2	2025/05/08	800080005482	初回作成日: 2023/02/14

空運送協会; IBC - 危険化学 品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害 濃度; IMDG - 国際 海上危険物規程; IMO - 国際海事機関. LC50 - 50%致死濃度. LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; (Q) SAR - (定量的) 構造活性相関; RID - 欧州危険物国際鉄道輸送規則; SDS - 安全データシート; UN - 国連. ENCS - 化審 法の既存化学物質リスト ISHL - 労働安全衛生法

製品コード: GF-3206

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA